

①事業の基礎情報

事業名	居場所充実事業				担当部・グループ名	こども未来部 こども育成グループ				
実施期間	平成 26 年度～平成 29 年度				担当 GL 氏名	都築 真哉				
新規・継続の別	継続事業				電話番号(内線)	52-1111(内線 364)				
総合計画(基本計画)体系	個別目標	(5)地域ぐるみで子育て・子育てを支えます				予算・事業上の 予算書上の 事業名	款	3款 民生費 10款 教育費		
	こんなことに取り組みます	世代間や異年齢同士の子どもの交流機会を豊かにし、子どもの自主性・社会性を育む居場所を充実します。					項	2項 児童福祉費 5項 社会教育費		
							目	3目 家庭支援費 4目 青少年育成・活動支援費		
	みんなで目指すまちづくり指標名	子どもを産み、育てやすいと感じている人の割合					事業名	9 児童センター事業 2 放課後居場所事業		
総合戦略		■該当する □該当しない								
現状値(H25)	66	実績値(H26)	65	実績値(H27)	64	実績値(H28)		目標値(H29)	74	(単位)%

②事業の概要

目的 (何をどうするために)	★日中、保護者が就労している家庭の児童（特に高学年）を含め、長期休暇中でも、保護者が安心して送り出せる居場所を提供し、友達と交流する機会を増やすことで、自主性や社会性の成長につなげるため。		
対象(誰・何を対象に)	小学生	対象の数量	3,086 人
最終目標 (最終的に何がどうなれば達成か)	☆友達を始め、地域の大人や異年齢の子どもと交流する機会がある居場所を設け、その中で子どもがのびのびと活動することで、様々な人との触れ合いを通じて、子どもの自主性や社会性が成長する。		

③事業にかかる事業費概要

平成 27 年度 (当初予算額)		決算額		主な内容	
事業費総額 (千円)		4,610	4,328		・放課後居場所運営委託料 4,097 千円 ・放課後居場所事業指導員謝礼 165 千円 ・消耗品費 42 千円 ・公共施設会場使用料 24 千円
財源内訳	一般財源	1,537	1,415		
	特定財源	国・県支出金	3,073	2,913	
		その他	—	—	
補助事業・単独事業の別		補助事業	補助事業		

#### ④平成 27 年度の実施内容（目指す姿の実現に向けて、どんなことに取り組んできたのかを整理する）

	何を・どのように・どうした ※箇条書きで記載する	いつ(年月)	アウトプット
実施内容	◆市内5つの小学校で放課後居場所事業を実施した。	H27.4～	のべ参加児童数 21,184人
	◆各小学校区において、雨天時や長期休暇にも対応する年間を通じた居場所事業「センターキッズ」を開始した。	H27.4～	のべ利用児童数 2,420人
	◆夏休み等に市内の方を講師にした講座を開催した。	H27.4～	開催回数 6回
	◆児童クラブの入会説明会で、居場所のチラシを配布した。	H28.1	のべ参加者数 356人
参画・協働・ 情報共有の工夫	★年度当初に、全児童にチラシを配布し、居場所事業とセンターキッズの周知を図った。		
	★児童センターで実施した講座等の内容を館長会等で情報共有した。		
進捗状況	概ね当初に掲げた計画どおり、順調に進めることができた。		
実施内容に 対する成果 (事業の自己評価)	☆雨天時や長期休暇にも対応する年間を通じた居場所が確保された。		



#### ⑤課題と今後の取組みの方向性（平成 27 年度を振り返り、課題を抽出し、今後の取組みの考え方を整理する）

課題	今後の取組みの方向性
<u>(1) 放課後居場所事業の周知不足</u> ・年々利用児童数は、増加傾向にあるが、センターキッズ事業が開催されたことを含め、まだまだ周知不足である。	・引き続き、年度当初のチラシ配布や、児童クラブの入会説明会などの機会を活用し、事業のPRを図る。
<u>(2) 居場所事業の実施状況がわかりにくい</u> ・児童向けには、学校を通じて、毎日の居場所事業の実施状況をお知らせしているが、保護者向けに実施状況を発信する手段がない。	・保護者向けに、子育て支援ネットワークのホームページやメルマガで事業の実施状況をお知らせできるよう工夫する。



#### ⑥課題解決に向けた平成 28 年度の具体的なアクション（案）

	何を・どのように・どうする ※箇条書きで記載する	いつまでに (年月)
計画(案)	◆放課後の小学生の居場所について、まとめたチラシを児童クラブの入会説明会で配布し、事業のPRをする。	H29.1
	◆各小学校に出向き、先生や子どもたちへ直接、PRをするとともに、各家庭向けに、チラシや子育て支援ネットワークなどを活用し、PRする。	H29.3
	◆生涯学習部門などの関係する他部署と連携し、様々な分野の地域の達人を発掘する。	H29.3
	◆保護者向けに、子育て支援ネットワークのホームページやメルマガで事業の実施状況をお知らせできるよう工夫する。	H29.3
参画・協働・ 情報共有の工夫	☆チラシの作成にあたっては、分かりやすい言葉や図をつかうなど、工夫する。	

特記事項	
------	--